



光星 12安打14得点

▽3回戦(八戸市長根公園)

【評】八学光星が12安打14得点で快勝した。初回、押田の中前適時打で2点を先制。6-0で迎えた三回、久保の適時三塁打など打者一巡の猛攻で一挙5点を挙げると、四回にも久保が右越えに3点本塁打を放ち、突き放した。先発濱元は4回を被安打1、6奪三振と力投。

東青連合は投手陣が踏ん張れず、打線も散発2安打と振るわなかった。久保6打点 大当たり

○：八学光星の3番久保が、四回の3点本塁打を含む、2安打6打点の活躍で打線をけん引した。

第1、2打席はそれぞれ三振と左飛に倒れるも、3打席目に狙い球の直球を捉えて3点適時三塁打を放ち、リズムに乗った。四回1死一、二塁で迎えた4打席目は、スライダーを強振り右翼席へ。初戦に続いて2試合連続となる本塁打に「今日はあまり調子が良くなかったが、うまく対応することができた」と顔をほころばせた。

今夏の県大会から3番に座る久保。「先輩たちが抜けた分、自分が打撃でチームを引っ張っていく」と目標の優勝に向け、気を引き締めた。